

常陸大宮市スポーツ推進委員会活動報告

市スポーツ推進委員は知識や技術習得のため、年間をとおしてさまざまな研修を行っています。

関東スポーツ推進委員研究大会（6/7-8）

大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市）

●東洋大学陸上競技部監督 酒井俊幸氏による記念講演 「その1秒をけずりだせ」

21秒差で準優勝に終わった箱根駅伝。選手たちの「あと1秒自分が頑張っていれば勝てたかもしれない。」という悔しい思いから生まれた言葉です。その1秒をけずりだすために選手の頑張りはもちろん酒井監督の組織マネジメントの工夫、選手個人へのアプローチの仕方や栄養学等多くのことを学び実践している姿に心が熱くなりました。



●障害者スポーツとの共生社会へ

分科会では上記のテーマのもと実践発表がありました。「障害のある人もない人も互いに支えあい、地域で生き生きと暮らせる社会の実現」を目指して頑張っているスポーツ推進委員の活躍はとても刺激的でした。中でも卓球バレーやカヌーへの取り組みは、工夫と努力次第で障害のある人も、いろいろなことにチャレンジできることを教えてくれました。私たち常陸大宮市スポーツ推進委員も障害者スポーツに取り組んでいます。（小林 正之）

スナッグゴルフ実技研修（8/11）

静ヒルズカントリークラブ

昨今の女子プロゴルファーの世界的な活躍には目を見張るものがあり、彼女たちのゴルフとの出会いはスナッグゴルフであるといえます。本市では今年度全国大会で、大宮小学校が準優勝という輝かしい成績を収めました。スポーツ推進委員と市民の協力者が中心になってスナッグゴルフ教室を毎年開催し、長年の成果が実を結びました。今回、日本スナッグゴルフ協会から講師をお招きした研修会では、ルールや技術はもちろんのこと、マナーやエチケットといった、社会生活上欠かせない物事を学ぶ重要性を再認識しました。今後もスナッグゴルフの普及にのみならず、子供たちの健全な育成に取り組んでいきたいと思えます。（海老根 博）



フライングディスク個人大会（8/25）

ケースデンキスタジアム（水戸市）

茨城県障害者・高齢者フライングディスク競技大会（主催：茨城県障害者フライングディスク協会）に運営スタッフとして参加しました。

選手約160人を迎え、応援や支援する方々が見守る中「大会を成功させよう」との共通目的のため、県内外から年齢も職業も異なる70人を超えるボランティアスタッフが参集しました。

選手の皆さんには、青空のもと、芝生のコートで思う存分プレーを楽しんでもらえるように、競技用ディスク1枚を選手へ渡すタイミングまで思いやりの心を込めて業務にあたりました。いくつもの役割の中で、審判以外は目立ちませんが、選手のために環境を整え、最高の舞台を演出する大切な運営チームの一員であるということにやりがいを感じました。今後も、障害者スポーツの普及に力を入れていきます。（皆川 悦子）



▲フライングディスク練習風景

■問い合わせ■ 文化スポーツ課 文化・スポーツグループ ☎52-1111(内線342)